



ビデオアーカイビング装置

ADC-ARC

ビデオサーバベースの送出システムでビデオサーバ本体のストレージを増やさずに容量拡張が可能なビデオアーカイブソリューションADCアーク。

ADCアークは800ギガバイト容量を持つLTO4データテープ8本を収容できるオートローダを装備し、ネットワーク接続されたビデオサーバ、ノンリニア編集機等とLTO4データテープ間でビデオファイルのアーカイビング、そしてリトリービングが可能です。ADCアークはケーブルテレビ局におけるファイルベース放送で重要な要素である長期保存と復元を担うソリューションです。さらに待機時電力がオンラインストレージに比べて遥かに低いので、環境面において優しいアーカイブソリューションです。

機能

■ LTO4(800GB)リニアテープ

54時間/本の蓄積容量@35Mb/sMPEG2 LONG GOP
日本国内の銀行・証券会社・政府機関で30年以上の使用実績をもつテープフォーマットで、手軽に手に入れることができます。

■ LTOテープオートローダ

1RUシャーシ内に8本のLTOテープを内蔵、復元対象ビデオファイルがオートローダ内にある場合は検索結果から対象ビデオファイルを自動的にビデオサーバへ復元、あるいはNLE等のクライアントへコピーできます。

■ オープンシステムデータベース内蔵

データベースを内蔵しているのでリトリーブ、コピーに必要なビデオファイルを複数の検索キーによって検索できます。

■ 無限大に近い蓄積容量とオフシェルフ管理が可能

マルチボリューム管理によってLTOテープの残すところ無く記録に使用し、記録領域が足りなくなったとき、次のプランクテープを要求します。

■ WEBベースアプリケーション

クライアントとして使用するNLEやWindowsPC、Appleのマシン上に常駐するアプリケーションは不要なWEBベースアプリケーションを経由して、ビデオファイルの移動・コピー・削除が行えます。

■ 24Mb/sの高速Read/Write性能

HD 25Mb/sの記録レートのビデオファイルの場合、ほぼ等速でアーカイビング・リトリービングが可能。

■ MXF自動ラッピング/アンラッピング

ビデオファイルは自動的にMXFコンテナにラッピングされてアーカイビングされます。アーカイビング時にメタデータ等の挿入が可能です。

■ 環境負荷が低いソリューション

オートローダの待機時電力は、フル稼働時でも80W
HDDストレージに対して1/10(当社比)
まさに環境に優しい高密度ストレージソリューションです。

■ 自動メタデータ登録

リトリーブされたビデオファイルのメタデータはプレイアウトのためにオートメーションデータベースに自動登録できます。

■ バリエティに富んだ接続可能ビデオサーバ

SeaChange/Omneon/GVG K2等のSambaあるいはFtpポートを装備しているビデオサーバと接続可能。

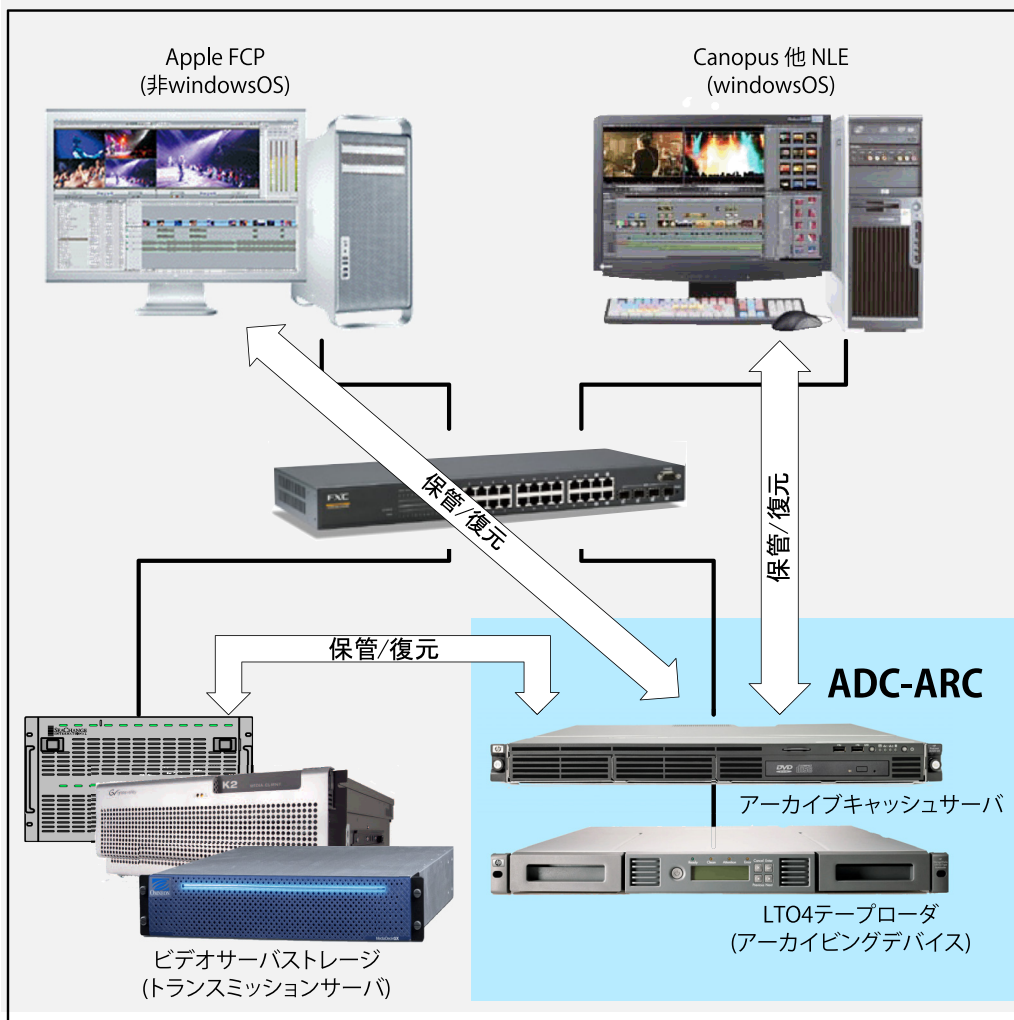
■ 日本全国でhp社の保守サービス受付が可能

重要な機構部であるオートローダの保守は日本全国にある日本hp社のサービスを受けられます。

構成

- アーカイブソフトウェア ADC-ARC 【KONDOBC】
 - LTO4オートローダ AK-377A 【日本hp社製】
 - アーカイブコントローラサーバ DL-120G5p 同等スペック以上 【日本hp社製】
- *カートリッジテープは別途ご購入ください。

システム系統図



*記載した内容は予告なく変更する場合がありますことをご了承ください。